

今回の執筆者は...



泌尿器科 部長  
横川 竜生

## 緩和ケアとは？

「緩和ケア」と聞いてみなさんはどんなイメージをお持ちですか？  
「もう治療できない人のためのもの」といったマイナスイメージをお持ちの方も多いと思います。

でも実際には緩和ケアとは「病気と診断されたその日から受けられる治療」なのです。

今の時代、女性の約50%、男性の約65%は何らかの がんになると云われています。

このように身近な病気となったがんは、がん自体の症状のほかに痛み、倦怠感などの身体的な症状だけでなく絶望感、喪失感などの精神的な苦痛も伴います。

## 実際のケアのご紹介

### 自分の病気を知り、治療法の選択を助けるケア

### 痛みなどのつらい症状を取り除くケア

- ・痛みを取り除くケア
- ・痛み以外の様々な症状を取り除くケア

### こころのふれあいを大切に元気になるケア

### 家族へのケア

### 日常生活を取り戻すケア

- ・食事を楽しむケア
- ・精神的苦痛を最低限にするための排泄ケア
- ・夜ぐっすり眠れるようにするケア
- ・好きな姿勢をとったり寝返りをうつケア
- ・からだをきれいに保つケア
- ・患者さんにとって心地よい環境を提供するケア

### 自宅でも緩和ケアを受けられるようにするケア

どうでしょうか、「緩和ケア」に対するイメージが変わりましたか？

緩和ケアはがんと診断されたときから受けられるがん治療を充実させる大切なケアです。

決してマイナスイメージのものではなくむしろ自分自身や家族にとってプラスとなるものなのです。

## 当院での緩和ケアに対する取り組み

当院には「緩和ケアチーム」というものがあり、医師・看護師・薬剤師・栄養士・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカーなど多様な職種で構成されるチームです。

個々の患者さんについてチームで様々な問題点を相談しながら最善の緩和ケアを提供できるように取り組んでいます。



左から医師・看護師・リハビリスタッフ・栄養士・ソーシャルワーカー



当科は、一般眼科および特殊外来（水曜日の午後に小児眼科外来、第一火曜日午後に緑内障・神経眼科外来）を行っております。

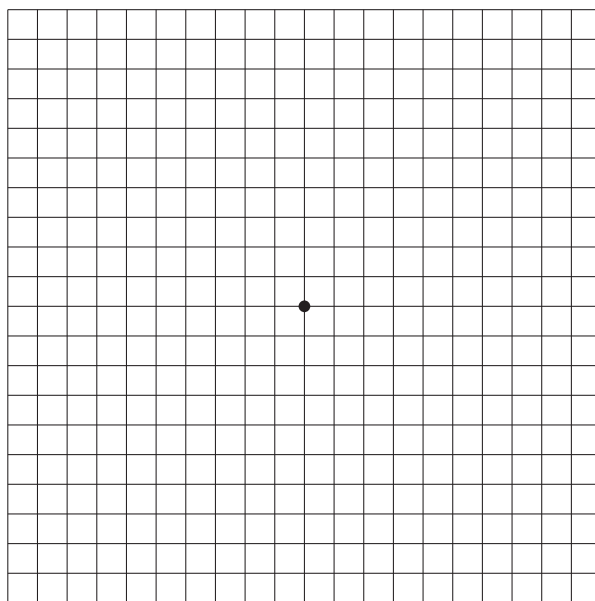
## 自覚しにくい失明原因—緑内障とは

緑内障・神経眼科外来は神戸大学眼科より専門の医師による外来です。

現在、日本における中高年の失明の原因疾患として緑内障が最も多いとされています。緑内障という病気は、視力は末期にならないと低下しません。視野だけが気付かないうちに狭くなってしまいます。更に、中心部の視野は両眼で見ると重なっている範囲が多いため、なかなか普段の生活では自覚しません。このため、異常を自覚して受診した際は、緑内障がかなり進行している場合が多いです。たまたま眼科を受診したり、健康診断を受けた時に指摘されるなどで発見されると、早期に治療開始となり、日常生活には不自由なく過ごせます。その他は、自分で気付くしかありません。そこで、自分で確認するために下の図を参照して下さい。

右の図の中心を片目で見て、周囲が欠けていれば、早めに眼科受診して下さい。

緑内障は、治療薬として様々な点眼薬があります。早期に治療を開始すれば薬にて視野の進行を抑えられることが多いです。



## 当院における小児眼科診療の特徴

小児眼科外来は、弱視、斜視、霰粒腫（さんりゅうしゅ）等の疾患にて受診される方が多いです。小児は、検査に時間がかかるため、一般外来だと待ち時間が長くなりますが、特殊外来の場合は比較的診察がスムーズです。また霰粒腫等の手術は、全身麻酔となりますが、手術当日に入院が可能であるため、1泊2日で治療することができます。

また当院入院中の未熟児に対しても診察を行っております。早期発症の未熟児網膜症に対しては、昨今「抗 VEGF 薬硝子体注射」が第一選択となってきております。当科でもレーザーではなく、抗 VEGF 薬硝子体注射の件数が増えてきております。なお、昨年の眼科治療は、当院で手術を含めた全症例の治療を実施しております。

以上が当科の専門外来の説明になります。

何かございましたら、眼科受付または予約センターにてお問い合わせ下さい。

## 認定看護師のご紹介



心不全看護  
認定看護師  
石川 清美

## 心不全とは

心不全とは、心臓が悪いことが原因で息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。心不全になると、血液を全身に十分に送り出せず水が体に溜まり、日常生活がしづらくなります。これら症状が繰り返し起こることが多く、そのたびに、心臓は弱くなっていくといわれています。

## 心不全看護認定看護師とは

心不全看護認定看護師とは、そんな心不全や心筋梗塞など心臓のご病気を持つ患者さまとそのご家族に関わる看護師のことです。

心不全看護認定看護師が行っている具体的なサポートとして、症状が強い時期には心不全からくる息苦しさを一刻も早く取るよう支援を行います。病状が落ち着いて、再発を予防する時期には、その方の生活についてお話しを伺って心不全の原因を知り、考えられる原因をなるべく避けられるように、生活スタイルの調整などのアドバイスをしています。

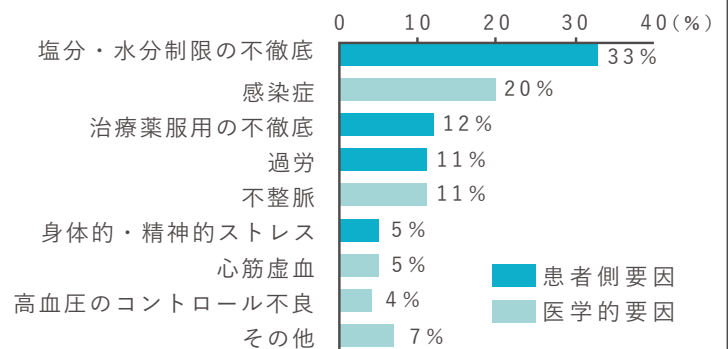
患者さまが「ご自身の心臓と上手く付き合って、再発をなるべく予防して、その人らしい生活を送る」ということを目指して日々のサポートを行っています。

## 当院での心不全対策

心不全が再発し再入院となる原因の多くは病気ではなく、「生活中的心臓への負担のかけすぎ」と言われています。心臓への負担となる事柄やその度合いは、患者さまの病気や生活スタイルによって違います。だからこそ、患者さま一人ひとりに合った負担の減らし方を医師や看護師と話し合う事が重要とされています。

当院で治療を受けられている方には、看護外来（心不全療養支援外来）の受診や心不全教室、外来心臓リハビリをおすすめしています。また当院をご退院されてすぐの方にはご自宅へ訪問し、ご家庭での過ごし方のサポートを行っています。心不全は再発が多い病気のため、ご自宅で過ごされるためには、訪問看護師やケアマネなどと連携し病状を把握していただくことがとても重要です。

心不全増悪による再入院の誘因



(Tsuchihashi M, et al. : Jpn Circ J 2000; 64: 953-959 より改変)

患者さまやご家族さまはもちろん、地域の皆さまも、心不全に関する心配事や生活のお悩み等がございましたら、どんなことでもお気軽にお声掛け下さい。「心不全だから、〇〇できない」ではなく、「心不全だからこそ、◎◎を大事に生きたい」を目指していきます！



## 加島クリニック

☎06-6475-8601

📍大阪市西淀川区御幣島3丁目3-3  
グランドールサンパティオ1F

医師名 加島 和俊 先生

【診療科目】内科／消化器科／呼吸器科  
循環器科／アレルギー科

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~ 12:30	●	●	●	●	●	●
16:00~ 19:00	●	●	-	●	-	-

※第3土曜日は休診

【ホームページ】

<https://www.kashima-cl.com/>

## 歌島上田クリニック

☎06-6471-1000

📍大阪市西淀川区御幣島1丁目4-9

医師名 上田 純也 先生

【診療科目】内科／小児科／整形外科



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~ 12:00	●	●	●	●	●	●
16:00~ 19:00	●	●	●	●	●	-

※初診受付 ▶ 午前／～11:45、午後／～18:45

【ホームページ】

<https://ueda-clinic7.sakura.ne.jp/>